

符 号	G5	G6	G6a	G7 (2G7a)	G8	G9	G10	G11	G12
位 置	全断面	端部 中央	端部 中央 他端	端部 中央	端部 中央	端部 中央 他端	端部 中央	A端 中央・B端	全断面
2 階									
フランジ	2FR-16×125	2FR-25×200 2FR-16×200	2FR-25×200 2FR-16×200 2FR-25×200	2FR-25×200 2FR-16×200	2FR-25×200 2FR-16×200	2FR-25×200 2FR-25×200	2FR-25×200 2FR-22×200	2FR-16×200 2FR-16×200	2FR-16×200
ウェブ	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9
上端筋	2-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	3-D25 3-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	2-D25
下端筋	2-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	3-D25 3-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	2-D25
あはし筋									
腹筋									
1 階	2階と同じ								
フランジ		2FR-22×200 2FR-16×200	2FR-22×200 2FR-16×200 2FR-22×200	2FR-22×200 2FR-16×200	2FR-22×200 2FR-16×200	2FR-22×200 2FR-22×200	2FR-22×200 2FR-16×200		
ウェブ		WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9		
上端筋		4-D25 4-D25	4-D25 4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25
下端筋		4-D25 4-D25	4-D25 4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25
あはし筋									
腹筋									
B1 階									
フランジ			2FR-25×200 2FR-16×200						
ウェブ			WR-9						
上端筋	4-D25	12-D25 12-D25	4-D25 4-D25		5-D25 5-D25	8-D25 5-D25	8-D25 5-D25	8-D25 8-D25	5-D25
下端筋	4-D25	14-D25 8-D25	4-D25 4-D25		5-D25 5-D25	5-D25 5-D25	5-D25 5-D25	8-D25 8-D25	5-D25
あはし筋		4-D16@200			3-D13@200	3-D13@200	3-D13@200	4-D16@200	3-D13@200
腹筋		16-D13						16-D13	
B2 階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋	6-D25				10-D25 10-D25	16-D25 16-D25	16-D25 16-D25		10-D25
下端筋	6-D25				10-D25 10-D25	20-D25 10-D25	20-D25 10-D25		10-D25
あはし筋	2-D16@200				4-D16@200	4-D16@200	4-D16@200		4-D16@200
腹筋	8-D13				16-D13	16-D13	16-D13		16-D13
注	1. 特記なき限りあはし筋は2-D13@200とする。 2. 腹筋は4-D10とする。 3. ○印は、SM50Aを示し、その他は、SS41を示す。 4. 左の加工要領図で、スパン8,000以下は、不適用とする。 5. 特記なき限り、印の鉄筋は補助筋(D16)を示す。								
加工	53. 1. 16	共通事項		1・2G6加工要領図		1・2G10加工要領図		用中製北口市民施設(仮称)建築工事	
竣工	55. 7. 30							大梁リスト (2)	
監理	〇〇〇〇							36-21	
施工	〇〇〇〇							No. T-521122	

符号 位置	G1		G1a			G2		G3			G4		G4a		G4b		G4c		G4d		
	端部	中央	端部	中央	他端	端部	中央	端部	中央	他端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	
PR P3 P1 階																					
フラジ	ZFR-22x200	ZFR-16x200	2FR-22x200	2FR-16x200	2FR-22x200	ZFR-22x200	ZFR-16x200	2FR-22x200	2FR-16x200	2FR-22x200	(ハンチ長も柱面よりℓ=1.000)										
ウェブ	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9 WR-9 WR-9										
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25 4-D25 4-D25										
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25 4-D25 4-D25										
あはら筋																					
腹筋																					
8 6 階																					
フラジ	ZFR-25x200	ZFR-16x200	2FR-25x200	2FR-16x200	2FR-25x200	ZFR-25x150	ZFR-22x150	2FR-25x200	2FR-16x200	2FR-25x200	(ハンチ長も柱面よりℓ=1.000)										
ウェブ	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9 WR-9 WR-9										
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25 4-D25 4-D25										
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25 4-D25 4-D25										
あはら筋																					
腹筋																					
5 階	3階に同じ		3階に同じ			3階に同じ		3階に同じ													
フラジ																					
ウェブ																					
上端筋																					
下端筋																					
あはら筋																					
腹筋																					
4 階	3階に同じ		3階に同じ			3階に同じ		3階に同じ													
フラジ																					
ウェブ																					
上端筋																					
下端筋																					
あはら筋																					
腹筋																					
3 階																					
フラジ	ZFR-25x200	ZFR-16x200	2FR-25x200	2FR-16x200	2FR-25x200	ZFR-25x150	ZFR-22x150	2FR-25x200	2FR-16x200	2FR-25x200	ZFR-15x200	ZFR-16x200	ZFR-25x200	ZFR-16x200					ZFR-25x200	ZFR-16x200	
ウェブ	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9	WR-9					WR-9	WR-9	
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25					4-D25	4-D25	
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25					4-D25	4-D25	
あはら筋																					
腹筋																					
施工	53. 1. 16																				
竣工	55. 7. 30																				
監理	田中 隆																				
施工	田中 隆																				
1. 特記なき限りあはら筋は2-D13@200とする。 2. " 腹筋は4-D10とする。 3. ○印はSM50Aを示し、△印はSS41とする。 4. 特記なき限り・印の鉄筋は補助筋(D16)を示す。																					
															府中県北口市民館建設(仮称)新築工事					36-22	
															大梁リスト(3)					1/50 No. T-521122	

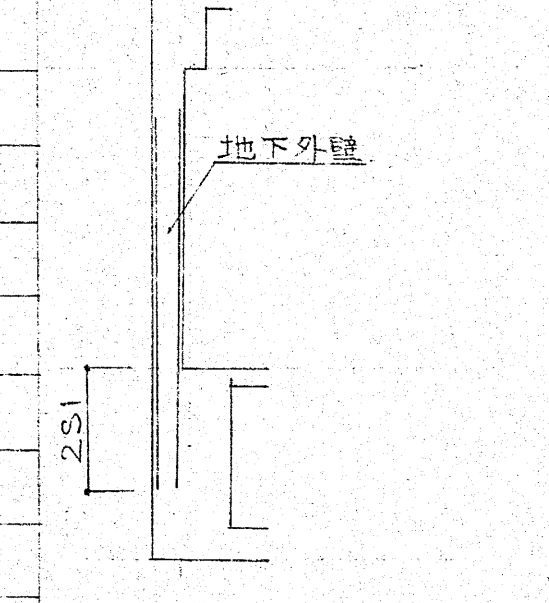
符号 位置	G5	G6	G6a	G7	G8	G9	G10	G11	G12(G13)
端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
PR P1	3階に同じ								
階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋									
下端筋									
あはし筋									
腹筋									
8 6	3階に同じ								
階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋									
下端筋									
あはし筋									
腹筋									
5	3階に同じ								
階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋									
下端筋									
あはし筋									
腹筋									
4	3階に同じ								
階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋									
下端筋									
あはし筋									
腹筋									
3									
階									
フランジ									
ウェブ									
上端筋									
下端筋									
あはし筋									
腹筋									

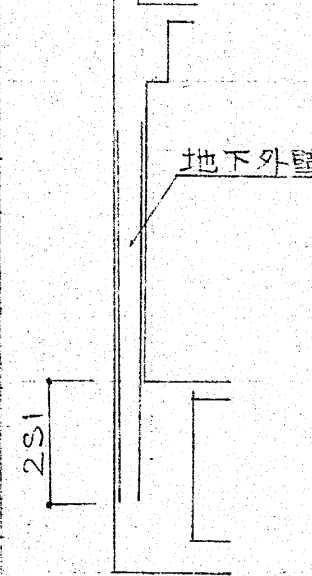
5-8G6 加工要領図

3-8G6Q	"
4-8G7	"
3~P3G10	"

片中鋼梁の施工要領図(鋼梁) 鋼梁工事

大梁リスト (4) 1/50 No. T-521122

小梁リスト															
符号	位置	CB1 全断面	CB1a 全断面	CB2 全断面	CB2a 全断面		SRB1 全断面	SRB2 全断面	SRB3 全断面	SRB4 端部 中央					
断面			 (注) 梁幅は接継梁と同一とする。		 (注) 梁幅は接継梁と同一とする。										
フランジ		2FR-25×200	2FR-25×200	2FR-25×200	2FR-25×200		2FR-16×150	2FR-16×150	2FR-16×200	2FR-16×200					
ウェブ		WR-9	WR-9	WR-9	WR-9		WR-9	WR-9	WR-9	WR-9					
上端筋		2-D25	2-D25	2-D25	2-D25		2-D19	2-D25	2-D19	4-D22 2-D22					
下端筋		2-D25	2-D25	2-D25	2-D25		2-D19	2-D25	2-D19	2-D22 4-D22					
あはり筋		2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200					
腹筋		4-D10	4-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	4-D10					
符号	位置	B1 全断面	B2・B2a 全断面	B3・B3a 端部 中央	B4 全断面	B5・B5a 全断面	B6 全断面	B7 全断面	B8 全断面						
断面			 (注) ()内はB2aを示す。	 (注) ()内はB3aを示す。		 (注) ()内はB5aを示す。									
上端筋		3-D19	5-D19	4-D22 4-D22	4-D22	5-D22	2-D19	5-D22	4-D25						
下端筋		3-D19	5-D19	4-D22 (4)6-D22	4-D22	5-D22	2-D19	2-D19	4-D25						
あはり筋		2-D10@200	3-D10@200	2-D13@200	2-D13@200	3-D13@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D13@200						
腹筋		2-D10	2-D10 (4-D10)	4-D13	2-D10	6-D10	4-D10	2-D10	4-D10						
符号	位置	FB1 全断面	FB2 9.11端, 中央 10端	FB3 C, H 11端, 中央 F 11端	FB4 全断面		SB1 全断面	SB2 全断面	SB3 全断面	SB4 全断面					
断面															
上端筋		5-D25	10-D25 10-D25	10-D25 10-D25	7-D25										
下端筋		5-D25	10-D25 14-D25	10-D25 14-D25	7-D25										
あはり筋		3-D16@200	3-D16@200	3-D16@200	3-D16@200										
腹筋		12-D13	12-D13	12-D13	12-D13										
床版リスト															
符号	版厚	短辺方向	短辺方向	長辺方向	長辺方向	備考	符号	壁厚	位置	断面	開口部補強筋 (長辺 ≤ 1,000)	開口部補強筋 (長辺 > 1,000)	(注) 1. 止め筋は、1m²に付 1-D13とする。 2. ハンパートは、W16を用いる。 3. 開口部補強筋は、左記リストを 配筋要領図 13-2の要領により配筋する外に同図に示す如く溶接金網をひかれ防止のために入れる。 4. 地下外壁筋の下部の定着は、下図のようにする。 		
S1	135	上 下	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	ダブル十字	W15	150	たて筋	D10, D13 @200	ダブル			
S2	135	上 下	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	"	W20	200	たて筋	D13 @200	ダブル			
S3	135	上 下	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10, D13 @200	"	W25	250	たて筋	D13 @150	ダブル			
S4	135	上 下	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	"	W45	450	たて筋	D16 @200	3列配筋			
S5	180	上 下	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	"	W90	900	たて筋	D16 @200	4列配筋			
S6	180	上 下	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	"	C-B		たて筋	D10 @400	ダブル			
S7	180	上 下	D10, D13 @200	D10, D13 @200	D10 @200	D10 @200	"	W-A	375	たて筋	D16 @200	ダブル			
S8	180	上 下	D10, D13 @100	D10, D13 @100	D10, D13 @100	D10, D13 @100	"	W-B	250	たて筋	D13 @150	ダブル			
S9	150	上 下	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	"	W-B	250	たて筋	D16, D19 @100	ダブル			
CS1	150	上 下	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	"	BW35	350	たて筋	D16, D19 @100	ダブル			
FS1	600	上 下	D19 @100	D19 @100	D19 @100	D19 @100	ダブル十字	BW45	450	たて筋	D19 @100	ダブル			
FS2	500	上 下	D19 @100	D19 @100	D19 @100	D19 @100	"	W50	500	たて筋	D16, D19 @100	ダブル			
FS3	500	上 下	D16 @100	D16 @100	D16 @100	D16 @100	"			たて筋	D16 @200	3列配筋			
FS4	350	上 下	D16, D19 @100	D16, D19 @100	D16, D19 @100	D16, D19 @100	"			たて筋					
施工	53. 1. 16											36-24 小梁リスト・壁リスト・床版リスト No. T-521122			
竣工	55. 7. 30														
監理	松本 隆														
施工	大井 隆														



鉄筋のかぶり厚さ

構造種別	常用かぶり厚さ
床スラブ	25
屋根スラブ	35
柱	40
梁	40
壁	50
煙突	50
煙突	60
柱・梁・壁・床スラブ	50
基礎スラブ	70
煙突	70

(注) 1. かぶり厚さは最外側鉄筋面よりの寸法とする。
2. かぶり厚さの最小値はJASS 5の10筋による。
3. 仕上げ材はコンクリートの中性化抑制・耐火性向上に有効なものを用いる。
4. 軽量コンクリートの場合も左表による。
5. 化粧打放しコンクリートの場合は左表常用かぶり厚さの他に25mm増し打ちを行う。
6. 土に接する側面はかぶり厚さの差()で示す寸法を外側に増打。
7. 基礎スラブとは独立基礎の場合フーチングも含む。

鉄筋の折曲げ要領

折曲げ角度	鉄筋の種別	曲げうちのり寸法(D)	折曲げ要領
180°	SR24	3d以上	
	SD30	4d以上	
	SD35	4d以上	
135°	SR24	3d以上	
	SD30	4d以上	
	SD35	4d以上	
90°	SR24	3d以上	
	SD30	4d以上	
	SD35	4d以上	

(注) 1. 折曲げ要領は、(柱・梁の主筋など一般主筋) (幅止め筋・X筋など) (あばら筋及び丸鋼のスラブ筋・壁筋など)

鉄筋の継手要領

1. 継手位置は 3-2 ~ 3-7 による。
2. 継手長さは 4 による。
3. 下記の場合は原則としてガス圧接しない。
a) 鉄筋の規格、種類又は製造所の異なる場合。
b) 鉄筋の直径(呼び径)の差が7mmを超える場合。
4. あばら筋、帯筋を溶接する場合は 6・7 による。
5. 3-2 ~ 3-7 の共通注記
a) 継手は乱継手とする。
b) 継手中心は印内に設けること。

種類	a	乱継手要領図
重なる継手の場合	フックのある場合 $a > 1.5d$ かつ $25d$ 以上	
	フックのない場合 $a > 1.5d$ かつ $25d$ 以上	
ガス圧接の場合	$a \geq 400$ かつ $15d$ 以上	

(注) 1. *印は継手中心位置を示す。

鉄筋の継手位置要領 (柱・大梁)

フーチング基礎の場合

(注) 1. 片持梁には原則として継手を設けない。

鉄筋の継手位置要領 (小梁)

一般の小梁及び基礎小梁

(注) 1. 片持梁には原則として継手を設けない。

鉄筋の継手位置要領 (柱・大梁)

べた基礎の場合

(注) 1. 片持梁には原則として継手を設けない。

鉄筋の継手位置要領 (壁)

一般壁

鉄筋の継手位置要領 (スラブ)

一般スラブ

鉄筋の定着要領 (柱)

柱頭

鉄筋の定着要領 (梁)

最上端梁筋の定着

鉄筋の定着要領 (小梁)

一般の小梁

鉄筋の定着要領 (スラブ)

床スラブ筋の定着要領

鉄筋の継手位置要領 (片持スラブ)

片持梁のある場合

鉄筋の定着要領 (壁)

(柱に定着)

3-6 鉄筋の継手位置要領 (スラブ)

3-7 鉄筋の継手位置要領 (片持スラブ)

4 鉄筋の定着及び継手の常用長さ

状況	鉄筋	フック	コンクリートの種類	常用長さ
S1	SR24	あり	$F_c=180$	37d
	SD30	なし	$F_c=210$	32d
	SD35	あり	$F_c=240$	30d
	SD40	あり	$F_c=210$	32d
	SD35	なし	$F_c=240$	30d
	SD40	あり	$F_c=210$	32d
S2	SR24	あり	$F_c=180$	15cm
	SD30	なし	$F_c=210$	10dかつ15cm以上
	SD35	あり	$F_c=240$	10dかつ15cm以上
S3	SR24	あり	$F_c=180$	25d
	SD30	なし	$F_c=210$	15d
SD35	あり	$F_c=240$	25d	

(注) 1. dは鉄筋の公称直径による。径の異なる鉄筋の継手長さは細い鉄筋のdによる。
2. 末端のフックは定着及び重ね継手の長さには含まない。
3. 異形鉄筋の定着及び重ね継手で下記に該当する部分にあるものは、必ずフックをつける。ただし定着長さはフックなしの場合による。
1) 柱の隅隅及び柱脚の出隅にある主筋
2) 梁の下端及び出隅主筋、ただし柱・梁等に定着される梁筋の末端及び基礎梁筋の場合は除く。
3) 壁の出隅に沿った鉄筋
4) 煙突の主筋
5) 片持梁の上端主筋先端部

5-1 鉄筋の定着要領 (柱)

5-2 鉄筋の定着要領 (梁)

5-3 鉄筋の定着要領 (小梁)

5-4 鉄筋の定着要領 (壁)

5-5 鉄筋の定着要領 (スラブ)

標準配筋要領図 (1)

36 - 25

標準配筋要領図 (1)

No. T-222

6-1 柱筋の配筋要領

主筋の位置 (注) 1. フックの位置は上下同一箇所に集中しないこと。
2. 柱筋は原則として等間隔に配筋する。
3. 主筋の配筋は柱筋に示すものとする。
4. フックは先曲げとする。
5. 連結筋はdとし、柱頭及び柱中央(1層2ヶ所)に入れる。

6-2 柱筋の配筋要領 (SRC柱)

(注) 1. フックの位置は、上下同一箇所に集中しないこと。
2. 柱筋は原則として等間隔に配筋する。

7-1 梁筋の配筋要領

(注) 1. フック位置にスラブが付く場合は、U字形、付かない場合は、閉鎖形とする。
2. 梁主筋は原則として等間隔に配筋する。

7-2 梁筋の配筋要領 (SRC梁)

(注) 1. フックの位置は、上下同一箇所に集中しないこと。
2. 梁筋は原則として等間隔に配筋する。

8 柱・梁の配筋要領

(注) 1. 主筋の折り曲げ位置では図-1及び図-2のように2本の規定筋を使用する。
2. 帯筋は規定寸法に割りつける。
3. 帯筋の間隔の原則
①部...リストによる。
②部...①部の1.5倍以下。
4. X筋(補助筋)は特記なき限りD10とし帯筋5本以内に入れるただし梁内には入れなくてもよい。
5. 第1あばら筋位置は柱面とする。
6. あばら筋は規定寸法に割りつける。

9 スラブ筋の配筋要領

(注) 1. 原則として短辺方向筋を外側配筋とする。
2. スラブ厚が200以上の場合は、1mに1ヶ所以上D10筋にて上下筋を連結する。
3. パーサポートは上端筋の下側筋及び下端筋の下側筋の全数を支えるようにD1200以内に配置すること。

10 壁の配筋要領

(注) 1. 隅部コーナー筋は壁筋と同径とし、壁筋D13以下の場合はD13とする。
2. 幅止め筋は、壁筋と同径、同間隔とし、壁筋D16以上の場合はD16とする。
3. ダブル配筋の場合は、1mに1箇所以D10筋にて内外筋を連結する。

11 コンクリートブロック壁配筋要領

(注) コンクリートブロック内の配筋は、たて共D10@400とする。

12-1 階段配筋要領図 (一方スラブ階段)

階段種別	厚さ t	主筋	副筋	備考
(K1)	150	D13@100	D13@200	
(K2)	180	D13@100	D13@200	

12-2 階段配筋要領図 (片持階段)

階段種別	厚さ t	主筋 A	主筋 B	副筋	備考
(K3)	150	D13@200	2-D13	D10@200	

13-1 壁開口補筋筋の定着要領

(注) 1. 開口最大寸法が150以下の場合は補筋筋不要。
2. 補筋筋は壁筋に等しい。
3. 補筋筋は規定配筋以外に入れる。
4. 開口ピッチは、3×(隣接する開口径の平均)以上を原則とする。

13-2 壁開口補筋筋の定着要領

(注) 1. 開口最大寸法が150以下の場合は補筋筋不要。
2. 補筋筋は壁筋に等しい。
3. 補筋筋は規定配筋以外に入れる。
4. 開口ピッチは、3×(隣接する開口径の平均)以上を原則とする。

14-1 床スラブの開口補筋要領

(注) 1. 開口の最大寸法が150以下の場合は補筋筋不要とする。ただし開口ピッチは、3×(隣接する開口径の平均)以上を原則とする。
2. 開口の最大径が800を超える場合は、係員と協議の上補筋とする。
3. Wが400を超える場合、短辺方向補筋は梁内にS1定着する。
4. 補筋筋リスト

開口の大きさ	短辺方向補筋	斜補筋
150×150<W≤400×400	2-D13	1-D13
400×400<W≤800×800	4-D13	1-D13

14-2 床スラブの出入隅部補筋要領

(注) 1. 補筋筋は(各)D13@200 (t=3000)とし上端筋の下に配筋する。
2. 床スラブ筋がD16以上の場合は床スラブ筋と同径筋を使用する。

15 柱・梁増打部分の補筋要領

(注) 1. 増打部分が80mm未満の場合は補筋筋不要。
2. 補筋筋はあばら筋及び帯筋はそれぞれあばら筋、柱筋筋と同径、同間隔とする。
3. 補筋筋の定着は原則としてS1とする。
4. 壁筋がD19以上の場合は補筋筋は上表にかかわらず壁筋と同径筋を使用する。
5. X筋はEとFの補筋筋を兼ねるものとする。

16 段違い床スラブ及び床スラブピット配筋要領

(注) 1. 補筋筋は(各)D13@200 (t=3000)とし上端筋の下に配筋する。
2. 床スラブ筋がD16以上の場合は床スラブ筋と同径筋を使用する。

17 基礎スラブピットの配筋詳細

(注) 1. 補筋筋は(各)D13@200 (t=3000)とし上端筋の下に配筋する。
2. 床スラブ筋がD16以上の場合は床スラブ筋と同径筋を使用する。

18 PC・AC杭の杭頭の配筋要領

(注) 1. 補筋筋は(各)D13@200 (t=3000)とし上端筋の下に配筋する。
2. 床スラブ筋がD16以上の場合は床スラブ筋と同径筋を使用する。

本設計図は特記なき項目に適用する標準配筋要領を示す

記	リストに示す梁幅	記	リストに示す梁高	記	一般定着長さ	記	床スラブの開口(長辺方向)の大きさ
記	リストに示す柱幅	記	梁のうちのリスパシ	記	スラブ下側の定着長さ	記	鉄筋公称直径
記	柱梁の増打寸法	記	長方形スラブの短辺有効リスパシ	記	小梁下側の定着長さ	記	帯筋、あばら筋公称直径
記	柱梁の増打寸法	記	長方形スラブの長辺有効リスパシ	記	壁開口(円孔)の大きさ	記	リストに示すスラブ厚さ

36 - 26

標準配筋要領図 (2)

No. T-01122